学校だより１１月号
かさま
令和８年１０月３０日
№５４３　横浜市立笠間小学校
http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/
【学校教育目標】かがやくひとみ　さわやかえがお　まごころいっぱい　かさまの子

一つ一つの経験を力に

校長　中西 建介

暑さもようやく和らぎ、過ごしやすい季節となりました。校庭では、秋の柔らかな日差しの下、子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿が見られます。また、校舎のあちらこちらからは、子どもたちが奏でる楽器の音色が聞こえてくるようになりました。秋の深まりとともに、子どもたちの活動も一層充実してきていることを感じます。

さて、１０月は多くの学年で遠足などの校外学習が行われました。校外学習は、教室での学習とは異なり、実際の場所や場面に身を置きながら、さまざまなことを学ぶ貴重な機会です。交通機関や施設の利用の仕方、公共の場でのマナーなど、学校の中だけでは学ぶことが難しいことを実体験を通して身に付けていきます。



私も今回、３年生の遠足に一緒に参加しました。電車の中では、他の乗客の方がいる中で、「席を譲った方がよいだろうか」「どこにつかまると安全だろうか」など、周囲の状況を見ながら考える場面がありました。また、新江ノ島水族館では、先生がすぐそばにいなくても、同じグループの友達と協力しながら活動を進めていました。「次はどこへ行こうか」「時間は大丈夫か」など、時計を確認しながら、自分たちで考えて行動する姿も見られました。

このように、校外学習では、その時々の状況に応じて「どうしたらよいだろう」と考え、自分で判断したり、友達と相談したりする場面がたくさんあります。大人にとっては何気ないことでも、子どもたちにとっては大切な学びの機会です。すぐに答えが見つかることばかりではありませんが、迷ったり、友達と相談したりしながら、一つ一つの経験を積み重ねていくことが、自分で考えて行動する力や、周囲の人を思いやる心が育まれていきます。遠足での子どもたちの姿から、一人ひとりの成長を改めて実感しました。

校外学習で得た学びは、その日限りのものではありません。友達と協力すること、時間を意識して行動すること、周囲の人の立場に立って考えることなど、日々の学校生活にもつながる大切な学びです。今回の経験を振り返りながら、学校生活の中でも生かしていけるよう、子どもたちとともに考えていきたいと思います。

来月は鎌倉芸術館でドレミファコンサートが開催されます。運動会に続き、全校で取り組む大きな学校行事の一つです。音楽を通して自分を表現することはもちろん、友達の奏でる音や歌声に耳を傾け、互いのよさを認め合いながら、一つの演奏や合唱を創り上げていくことにも大きな意味があります。子どもたち一人ひとりが自分の力を十分に発揮し、友達や先生と心を合わせて素敵な演奏や合唱を届けられるよう、教職員一同、力を合わせて支援してまいります。コンサート当日、子どもたちの輝く姿に出会えることを楽しみにしています。